

## パパママ対話集会議事録（要約版）

開催：2018年11月12日

### 意見①

学童保育の現状について

施設がイモ洗い状態。指導員が足りない。昨今の賃金上昇に対応できず、人員補充もままならない。

### 県議よりコメント

人員補充のための補助金については県に、施設の確保の対してどのように考えているかは市に、それぞれ要望して参ります。回答や進捗は今後ご報告致します。

### 意見②

長倉小の学童保育について

数年前に分室したが、それによって一か所の児童数が減ったことで、子どもたちのストレスが軽減され、落ち着きがみられるようになった。デメリットとしては、西中に分室をおこなったため、遊ぶ場所との移動などに気をつかうようなシーンが見受けられるようになった。

シングルのあるお母さんの事例で、幸手の中で土日預かってくれる場所がないので、久喜のたんぽぽルームを使用しているが、そちらに関しても利用できるのは16時まで。祝日は絶望的。現状はなんとか、ファミサポでやりくりしている状態。

### 県議よりコメント

幸手市に対して現状を確認し具体的な対応を要望して参ります。

### 意見③

まだ生後間もないので学校などの状況は分からないところですが、こちらに参加していただいている皆様方が頑張っていけば、環境は改善されていくのではないのでしょうか。

### 意見④

参観日とか、ちょっとだけ預けたいなと思っている際に、きららの杜（保育園）が時間預かりで便利だったけれども、2歳になったのを機に預け先が市立保育所になり、時間ではなく半日か一日で料金も変わり、手続きも2日前までに子連れで申請書を提出しなければならないようになってしまった。きららの杜はなぜ2歳から預かりをしていないのか。

### 県議よりコメント

まずは幸手市に問い合わせ、返答を掲載させていただきます。さらにこのようなニーズに対する改善策や、サービスの拡大を要望して参ります。

#### 意見⑤

とりあえずいろいろなものに登録はしました。病児保育で「とん ことり」にも登録した。一人で子どもが留守番しているのは心配。病児保育も行政の方でどうにかならないものか。

#### 意見⑥

わが家の場合、子どもたちは病気知らずだったので、これまで大きな苦労はなくやってこれたが、ファミサポは事前の打ち合わせが必要なので、突発的なシーンで使用しにくいと感じる。また、使うか使わないかわからない段階では利用にあたっての事前の打ち合わせが、負担として大きい。

#### 県議よりコメント

ファミサポの事前打ち合わせは実際にどのくらいの時間が必要でどのような内容になるのかまずはきちんと調べてみます。

#### 意見⑦

こども 110 番の家に関して

付き合いがないお宅の場合、実際使用させるとなっても心理的なハードルが高い。学校や家庭で、利用にあたっての教育が必要。また、トイレを借りたい、水が欲しいなどという失礼な例があることが懸念されて協力が得られにくい様子もある。痴呆の始まった高齢者の家が依然として 110 番の家になっている状況もあり、適切な審査、更新が行えているのか不安だ。

#### 意見⑧

外国人シングルの友人は車がないため、移動をデマンドバスの往復に頼らざるを得ない時があるが、料金が割高で、また、予約もなかなか取れないという。費用がかさんで、子どもの塾を辞めざるを得ないような状況があった。

アスカル幸手の冷暖房が弱い。夏熱く、冬寒い。子どもの大会などがアスカルで開催される際に、市内外からの親子が集まるが、評判が良くない。

#### 県議よりコメント

公共交通ネットワークの充実については 6 月議会で取り上げました。より効率的で便利な環境になるよう要望に参ります。

#### 意見⑨

わが家には発達障害の子がいる。幸手には発達障害を持つ親御さんが内情を打ち明けたり、意見交流や情報交換できる場がなかったので、「しあわせ虹の会」というサークルを立ち上げました。子どものサポートもですが、親のサポートも大事。また、発達障害に対して正しい知識を持っている教員が大変限られている。発達障害の特化した才能を伸ばしていけないものか。

#### 県議よりコメント

発達障害に対する教員の現状と対策は正確に調べてみたいと思います。

#### 意見⑩

保育所の入所基準について。仕事をしている人の優先順位が高く、仕事を探している人の保育優先度が低い。預かりが確定しないと不安感が大きく、就職活動も身が入りにくい。

学童の父母会について。指導員と父母がお金のやりくりをするが、働いているから子どもを預けるための学童なのに、学童に預けるために必要な作業に時間をとられるのは本末転倒ではないか。

#### 県議よりコメント

まずは私たちの町の待機児童と併せて学童環境の実態を調べてみます。

#### 意見⑪

学童については利用人数の地域差が大きい。吉田は子どもがとても少ないので、既にPTAなどで役が付いている。その状態で学童にいれても、さらに役が上乘せとなることが明白なので、だったら使用しません、といった状態。学童を保護者経営ではなく外部業者に委託できたら、保護者の負担軽減や指導員の給与改善が期待できるのではないか。

#### 県議よりコメント

学童の運営について、他自治体や先進事例を調査します。

#### 意見⑫

このあたりで遊ぶとなったらアグリパークに行くことが多い。権現堂公園（1号）にも大きな遊具があるが、日陰がなく、アグリパークのように販売店などもなく、親が退屈になってしまう。もっと親も楽しめる施設が幸手にないのでしょうか。

#### 県議よりコメント

日陰のご意見はとても重要。利用者目線で市民の公園を目指し改良していきたい。特に平成32年には県営権現堂2号公園が完成予定。ご意見を反映していきます。

#### 意見⑬

幸手の子育て環境はセールスポイントがない。以前住んでいた江戸川区は我が区が一番と  
言い切れるくらい、魅力が満載だった。

例えば、年配の方と子育て世代とが同じ目的を持って取り組めるような環境を作ったら、子育て世代にとってはありがたいのではないだろうか。

#### 県議よりコメント

私も「寺子屋★こども塾」という、経験者と子育て世代が一緒になって地域で人材を育む事業を行っています。今後、全国の事例も調査し、具体的に私達の町にできることをさらにご提案致します。

#### 意見⑭

他の自治体の取り組みはどうなっているのか。意外と市外についてはわからない。県外、国外なんてなおのこと。

#### 県議よりコメント

子育て応援日本一を掲げる自治体として、他自治体と比較できるものにするなど、もう少し分かりやすい子育てサービスの仕組みを作ることも要望して参ります。

#### 意見⑮

投票に行く有権者が高齢者中心で、議員も高齢化し、政策も高齢者向けになっているように思う。行政のサービスやお金の流れが高齢層に大きいのではないのでしょうか。子どもたちにもっと選挙に興味をもってもらうような取り組みをしてもらわないと少子化問題は良くならない。

#### 県議よりコメント

確かにそういった傾向はあるかと思えます。政治の側も若者や働く世代がもっと関心や意見を言いやすい環境にして参ります。

#### 県議まとめ

この度はご参加頂きありがとうございました。これまで様々なテーマを掲げ、70回程開催して参りました「きらきら対話集会」ですが、笑いあり涙ありのパパママの愛情溢れる雰囲気は私自身が感動しました。

この度頂いた皆さんからの想いのこもったご意見とご要望はそれぞれ市、県、国、各団体へしっかりと要望、提言して参ります。

さらにその進捗と結果もホームページにて継続して報告して参ります。それに対するご意見やご要望もぜひ頂ければ幸いです。

私達パパママと愛する子ども達の環境をみんなでもっと！良くして参りたいです。

改めまして、皆様のご参加とあたたかいご意見に心より感謝申し上げます、御礼とさせていただきます。

愛する郷土を良くしたい

埼玉県議会議員 きら英敏